

2019年度(平成31年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

〈学校用〉

校番(27)番 福山市立駅家南中学校

1 育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)

育成する21世紀型“スキル&倫理観”	問題解決力	コミュニケーション力	協調性	リーダーシップ
めざす子ども像(21世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた児童生徒の姿)	望ましい解決策を導き出すことができる。	自分の考えや思いを論理的に相手に分かりやすく伝えることができる。	互いに関わりながらその場に応じた行動ができる。	率先して集団や社会の中で役割を果たすことができる。

2 授業の現状

- ・基本的な知識や技能を十分に身に付けられていない生徒も見られる。
- ・課題意識や見通しをもって、学習を進めようとしている姿もある。
- ・学習した内容をアウトプットしようとする姿も見られる。

転換

3 めざす授業の姿

- ・基本的な知識や技能をしっかり身につけようとしている。
- ・課題意識をもち、学んだことを活用してじっくり考え、はっきり表現しようとしている。

4 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況	9月からの取組	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
○生徒指導の三機能を生かした授業づくり ①基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る取組を繰り返し行ない、できたことを肯定的に評価する。 ②生徒に見通しを持たせるための「学びの地図」を作成するとともに、効果的なものとなるよう工夫点などを交流する。 ③理解したことをアウトプットする(話す・書く)場面を意図的に設定し、アウトプットできた姿を肯定的に評価する。	①○多くの教員が定期的な確認テストを実施。 △定着が十分とは言えない ②○生徒アンケート「何をするかを理解して、授業に取り組んでいます」の肯定的評価 90.6% ○「学びの地図」計画的な作成と研修の実施 ③△生徒アンケート「私は、自分の考えを積極的に表現(書く・話す)しています」の肯定的評価 78.5%	○生徒指導の三機能を生かした授業づくり ○生徒の主体的な学びが生まれる「学びの地図」 ①基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る取組を繰り返し行ない、できたことを肯定的に評価する。 ②生徒に見通しを持たせるための「学びの地図」の作成と、生徒の主体的な学びが生まれる「学び合い」を取り入れた授業展開の工夫を行う。 ③理解したことをアウトプットする(話す・書く)場面を意図的に設定し、アウトプットできた姿を肯定的に評価する。	①「授業にやる気を持って参加します」の肯定的割合が 2.5 ポイント上昇した(89.5→92.0) ②「何をするかを理解して、授業に取り組んでいます」の肯定的割合が 1.9 ポイント上昇した(90.6→92.5) ③授業において「自分の考えを積極的に表現(書く・話す)しています」の肯定的割合 0.5 ポイント上昇した。(78.5→79.0)	①基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る取組を繰り返し行ない、できたことを肯定的に評価する。【継続】 ②学びの地図に対する生徒の意識調査を行い、より効果的な学びの地図を作成していく。【継続】 ③アウトプットする(話す・書く)場面を意図的に設定し、アウトプットできた姿を肯定的に評価する。【継続】	①授業などで確認テストを行うなど、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る取組を行ったが、十分に定着できていない状況もある。 ②各教科で学びの地図の作成を行う中で、単元を意識した授業づくりを行うことができた。 ③各教科において、授業でアウトプットする場面を設定することができた。

5 取組の結果等

数値は2019年(H31年)調査等の状況

全国学力・学習状況調査(%)	〈児童生徒質問紙調査〉(%)	(肯定的評価)	
国語	65(-9)	自分にはよいところがある	60.1
数学	48(-12)	先生はよいところを認めてくれる	54.7
英語	50(-6)	将来の夢や目標を持っている	69.6
		人の役に立つ人間になりたい	87.8

()は県平均との差

「基礎・基本」定着状況調査(児童生徒質問紙調査)(%)	(肯定的評価)
学校へ行くのは楽しい	84.6
「やりなさい」と言われなくても、自分から進んで勉強をしている	70.0
授業では、課題について、「なぜだろう」「やってみよう」と思う	70.0
授業では、友だちと話し合うなどし、考えを深めたり広げたりしている	83.8

暴力行為発生率・不登校児童出現率 (%)	(2)月末現在
暴力行為	0.88
不登校	3.30

体力づくり改善計画【広島県体力・運動能力調査から】

県平均以上項目数	前回目標値に対する結果	重点課題	改善する取組内容・方法
(男子) 16/24	○男子 2・3年生の全身持久力に課題がある。 1・2年生の最大筋力に課題がある。 全体的に2年生の体力・運動能力が低い傾向にある。	○男子 1・3年生の持久力に課題がある。 1年生の握力に課題がある。	○持久力 ・各部活動で冬季トレーニングの一環として、定期的にタイムトライアルを実施し、向上を図る。
(女子) 14/24	○女子 全学年の最大筋力に課題がある。 1・3年生の全身持久力に課題がある。 ○「最大筋力」→体育の授業の中で、握力を鍛えるような補強運動を行う。	○女子 1年生のボール投げに課題がある。 3年生の立ち幅跳びに課題がある。	○握力・ボール投げ・立ち幅とび ・体育の授業で補強運動を増やす。 ・その領域の授業で実施する。
目標値	○全学年の「持久走」の数値を県平均かつ全国平均以上にする。 ○男女の体力県平均以上の割合を80%以上にする。		

福山100NEN教育アンケート[対象:授業者](%)

質問項目	当てはまる	当てはまらない
仕事にやりがいを感じている	73.7	26.3
仕事に充実感がある	66.6	33.3

児童生徒アンケート(%) (12)月実施

質問項目	当てはまる	当てはまらない
授業で考えることが面白い	74.8	25.2
自分の考えは、認められている	71.5	28.5